第１７回熊谷市入札適正化委員会　会議の概要

１　開催日時　平成２６年２月１７日（月）　午後２時開会

２　開催場所　熊谷市役所議会棟　第４委員会室

３　会議の内容

⑴　開会

⑵　議事

ア　入札手続の運用状況に関する報告

イ　抽出事案に関する審議

＜市長部局＞

- 一般競争入札　３件／対象案件　３８件
- 指名競争入札　３件／対象案件　５２件
- 随意契約　１件／対象案件　８件

＜水道部＞

- 一般競争入札　１件／対象案件　１１件
- 指名競争入札　１件／対象案件　１６件
- 随意契約　０件／対象案件　０件

ウ　その他

⑶　閉会

議事の概要

１　入札手続の運用状況に関する報告

資料に基づき、事務局から、「平成２５年９月１日から平成２５年１２月３１日までの建設工事及び工事に係る業務委託の状況概要」について説明を行った。

委員からは下記のとおり質疑があり、事務局から回答し、了とされた。

【質疑応答】

委　員：　平成２６年２月から適用する公共工事設計労務単価の引き上げだけでなく、材料の急騰に関しても懸念がある。材料単価も含め、国又は県から別段の動きはあるのか。

事務局：　設計労務単価引き上げとともに、スライド条項の設定・活用についても通達があった。業者側から協議があれば、応じることになると認識している。

２　抽出事案に関する審議

委員により抽出された下記事案について、事務局から説明を行った。

委員からは下記のとおり質疑があり、適宜事務局から回答し、了とされた。

＜市長部局＞

事案１・・・坪井地下道ポンプ場自家発電機更新工事【一般競争入札】

【質疑応答】

委　員：　この業種の工事は、従来、落札している業者が限られているようである。競争性が得られにくいものなのか。

事務局：　機械器具設置工事業の入札参加資格登録業者数は多くはないので、範囲が限られてしまうのは否めない。本件は、一般競争入札で実施し、入札参加資格者数は４４者である。参加資格者の範囲を可能な限り広く設定しているが、結果的に応札が得られにくい状況である。

委　員：　入札参加の範囲を広げて、応札が３者のみというのは、どうか。入札参加資格者の中に群馬県内本店があるが、これらの業者が入札公告などを見る機会はあるのか。

事務局：　この種の工事に関し、他の工事に比し競争性が弱いということは認識している。入札について、埼玉県電子入札共同システム、市ホームページ等で公開しており、群馬県の業者が入札参加している事例がある。

委　員：　現在の建設業界の状況をどのように把握しているか。

事務局：　国や都などの工事に大規模業者が集中し、下請として市内業者などがそれらの工事に従事することで、人材が不足し、結果的に市工事の応札が低下する一因になっているのではと考えている。建設業界全体が、人材不足の状況であり、建設業労働者の底上げに関して、国も労働力の増加に力を入れている。ただ、業者側としても、将来への懸念がある中、積極的に人材確保に踏み切れず、応札しにくいのではないか。資材調達の困難性も含め、複合的な要因があるものと考えている。

委　員：　一般的に維持管理や改修工事において辞退が多い傾向であるのは感じている。新築と異なり、人気がないということなのかもしれない。このため、諸々の工事をワンセットにして発注するなどの方法を検討している所もあるようである。

委　員：　消費税改正や技能労働者不足などは、この時期の工事において影響が出ているのか。消費税の改正に伴う、駆け込みのような発注はあるのか。

事務局：　建設工事は、年度単位の予算内で計画的に執行しており、駆け込みに該当するものはない。工期が４月以降になる案件については、３％分上乗せを織り込みの上で執行する。公共工事よりも民需の方に駆け込みの要素があるのではないか。それが公共工事に影響する可能性は考えられる。

事案２・・・大里地区保育所統合整備事業建築工事【一般競争入札】

【質疑応答】

委　員：　本工事も３者のみの応札である。この背景をどのように捉えているか。

事務局：　本件も改修工事であり、利幅が少なく人気がないということであると考えている。今回の対象業者は、埼玉県内に本店を有する者としているが、近隣地域の業者の応札への期待の中で、このような範囲とした。

委　員：　この時期の工事で、下請、あるいは孫請の確保ができるのか。

事務局：　発注時期を考えると厳しい状況と推測する。

委　員：　２回の不調を踏まえ、設計内容を見直した点とは。

事務局：　労務単価、資材単価等を見直している。また、外構工事を加え、年度をまたいだ工期を設定し直した。予算確保のため、議会において補正予算を承認いただいている。

委　員：　不調となった入札の設計金額と工期は。

事務局：　工期については、１回目が平成２６年２月１４日まで、２回目が平成２６年３月７日まで、である。設計金額は、１回目が８，３５８万円、２回目が８，６２０万５，０００円である。

事案３・・・幹線第３号線道路改良工事【一般競争入札・総合評価方式】

【質疑応答】

委　員：　低入札に該当した場合、落札できる余地はあるのか。

事務局：　県には失格基準価格の制度があるが、本市では調査基準価格のみ採用している。低入札価格調査の結果、適合すれば落札の可能性はある。

委　員：　調査基準価格を採用している本件において、調査を実施することなく失格にはならない、ということか。低入札に該当し技術評価点で足らなかった結果ということか。

事務局：　技術評価点、評価値による結果である。

委　員：　配点表減点項目に該当する業者に、総合評価での減点以外にどのような措置があるか。

事務局：　内容により、入札参加資格を停止している。

事案４・・・熊谷市立熊谷東中学校プール補修工事【指名競争入札】

委　員：　指名業者が辞退している理由は。

事務局：　発注時期が第３四半期であり、手持ち工事により技術者あるいは作業員等の確保が困難であったと推測する。

事案５・・・道路整備工事（八ツ口）【指名競争入札】

【質疑応答】

委　員：　失格は最低制限価格未満との解釈でよいか。

事務局：　最低制限価格未満での失格である。

委　員：　最低制限価格と失格の入札額との差異が少ないが、制度上やむを得ないか。

事案６・・・妻沼水質管理センター計装設備修繕工事【随意契約】

【質疑応答】

委　員：　１回目の見積額と最終回の見積額とに大きな開きがあるが、何か事情があるのか。

事務局：　見積合せでは、提出された見積書と予定価格調書とを照合し、予定価格を超過している旨を説明し、改めて見積書を提出するか否かを問うている。相手業者は本市の維持管理等に携わっている業者であり、市との契約状況や受注可能か否かを総合的に判断していただいていると考える。

事案７・・・第２北大通線物件調査積算業務委託【指名競争入札】

【質疑応答】

委　員：　委託内容はどのようなものか。

事務局：　第２北大通線の事業用地に差しかかる４棟の移転に係る補償などの調査である。

委　員：　約２か月の期間で充分に実施できる業務か。

事務局：　受託者は補償資格者であり、専門的知識を有し、相応の期間であると考える。

委　員：　積算は各棟ごとに業者を分けるのか、同一業者が積算するのか。

事務局：　受託業者は１者とし、該当の４者それぞれ不公平のないようにしている。

委　員：　移転単価の変動はあるのか。

事務局：　物価のスライドなどは考えられる。また、消費税改正の際は反映した変更契約を行う。予算の中で交渉し、理解いただけるよう交渉していく。

＜水道部＞

事案８・・・八木田地内配水管布設工事【一般競争入札】

質疑なし。

事案９・・・籠原駅 JR 軌道線下横断管更生工事【指名競争入札】

【質疑応答】

委　員：　ホースライニング協会上水道会加入業者で、埼玉県内で対応できる業者は。

事務局：　導入機械、技術も特殊であることから、現状では県内業者ではいない。この案件については、平成２４年度、市内業者対象に実施した一般競争入札で応札がなかった。結果的にホースライニング協会加入者に下請工事を出すこととなり、下請工事に係る金額が設計金額では見合わない、というのが理由であった。

委　員：　応札者それぞれの入札額が近いが、事前に見込まれていたことか。

事務局：　仕様書の内容が非常に固定的になっており、差が少ないのではないか、という認識はしていた。

３　その他

【質疑応答】

委　員：　期間が重複する工事を同一業者が落札しているものがあるが、技術者や作業員の確保が難しい中、複数受注しても支障はないのか。

事務局：　ケースとして多いのは、同一業種の受注である。また、同一業者が落札している工事は、落札金額２，５００万円未満の工事であり、建設業法上、技術者専任の制約がなく、相応の工事を受注できるだけの技術者を含めた人的確保ができているという点で、受注しやすい状況であったと認識している。

委　員：　国として実勢価格を適正に反映した価格での施工を求めているのだろうが、市民感情としてあまり費用をかけずに効果を出してほしいという見方もある。また、公共施設をそのまま残すのか、ある程度残すべきものを選んでいくのか、どのように考えているか。

事務局：　公共工事を可能な限り低価格で実施できればよいが、工事の品質確保にも配慮しなければならない。国としても、公共工事を挙げて建設業の技能労働者の処遇改善、人材確保に向け取り組んでおり、予定価格の適正化などが謳われている状況にある。公共施設の選択なども、協議していくべき内容であることは認識している。

以上で、閉会となった。